

令和7年度 ダム工学会（中国・四国地区）現地見学会および講演会

「令和7年度 ダム工学会（中国・四国地区）現地見学会および講演会」において、下記のとおり開催・終了しましたので、ご報告いたします。

1. 開催期日：令和7年12月8日（月）
2. 見学場所：早明浦ダム（高知県土佐郡土佐町、長岡郡本山町）ダム再生事業
3. 講演
 - ・演題1：「早明浦ダムの再生事業について」
講師：独立行政法人 水資源機構 吉野川上流総合管理所 早明浦ダム再生事業推進室
設計工事課 課長：森長 夏樹 氏
 - ・演題2：「増設放流設備の設計」
講師：独立行政法人 水資源機構 吉野川上流総合管理所 早明浦ダム再生事業推進室
設計工事課 設備リーダー：大橋 幸義 氏
 - ・演題3：「早明浦ダム再生事業 増設洪水吐き工事」
講師：大林・佐藤特定建設工事共同企業体 早明浦ダム再生 JV 工事事務所
副所長：鎌田 知仁 氏
4. 参加人数：22名（ゼネコン、コンサルタント）
5. 施工現場見学時の説明早明浦ダム再生事業推進室 設計工事課課長 森長夏樹 氏

○講演会（早明浦ダム管理所 早明浦ふれあいホール）

1）吉野川上流管理所 早明浦ダム再生事業推進室 設計工事課 課長：森長 夏樹氏より「早明浦ダムの再生事業について」と題してご講演いただきました。

本講演では、早明浦ダムの概要とその効果、またダム再生事業が必要となった背景や主要工事の概要についてご説明いただきました。早明浦ダムでは、これまでダムの計画最大流入量を越える洪水が4回発生しており、そのうち2回は最大放流量を越える放流となったということで、洪水調節容量の増大が求められ、事前放流量を大きくするために低標高部に放流設備を新しく3条増設すること、新技術である浮体式仮締切工法の採用などを、写真や数値データを交えながら詳しくご説明いただきました。



森長 夏樹氏 講演会の様子

2) 吉野川上流管理所 早明浦ダム再生事業 推進室設計 工事課 設備リーダー:大橋 幸義氏より、「増設放流設備の設計」と題してご講演いただきました。

本講演では、増設放流設備の概要、その配置計画について既設ダムの各種制約条件のもとで決定した経緯、水理模型実験(縮尺 1/32)によって放流能力等を確認した事など写真等を交えながらご説明頂きました。また、上流仮締め切りでは、水中部ならではの様々な制約がある中で、特許を取得した『浮体対策工兼戸当たり 特許第 7500012 号』の開発の経緯等のご説明も頂きました。



大橋幸義氏 講演会の様子

3) 大林・佐藤特定建設工事共同企業体 早明浦ダム再生 J V 工事事務所 吉野川上流管理所 副所長:鎌田 知仁 氏より、「早明浦ダム再生事業 増設洪水吐き工事」と題してご講演いただきました。

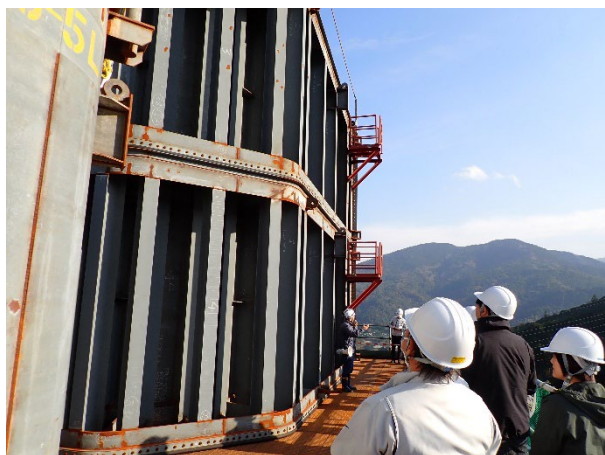
本講演では、工事の全体概要と現在の工事状況についてご説明頂きました。特に、堤体掘削について施工フローや主要な施工機械、モニタリング方法とその結果、放流管設置と自己充填性コンクリート【ニューロクリート (NETIS:KT-200006-A)】を用いた充填工など、写真はもとより動画も交えながらご説明頂きました。



鎌田 知仁 氏 講演会の様子

○現地見学会（早明浦ダム 天端構台）

現地では、ダム天端に設置された大型重機の作業スペースを確保するための作業構台にて、ダム天端周辺での工事の説明を受けました。ダム天端から上流仮締切設備の状況を見学しましたが、残念ながら見学時には予備ゲートの設置が完了しており、仮締切の移設中でした。ただし、浮体式仮締切工の鋼製角落しゲート部材が天端付近に仮置きされており、間近で見学することができたので、その点においてはいいタイミングだったと思います。また、堤体削孔箇所下流端のコンクリート切断部が展示されており、その規模の大きさを実感したほか、ワイヤーソーによる切断面を間近に見ることができ、堤体コンクリートの新鮮さが保たれている事に参加者も感動していました。



浮体式仮締切工__鋼製角落しゲート部材



削孔箇所下流端のコンクリート切断部



ダム天端より下流を望む
(放流管設置および洪水吐き設置工事)



ダム天端より上流を望む
(移設中の仮締切工の状況)

○現地見学会（早明浦ダム バッチャープラントヤード付近）

天端での見学後、右岸下流側バッチャープラントヤード付近にバスで移動し、削孔現場を見学しました。当日は、削孔工事は行われていませんでしたが、新設される減勢工や放流管基礎のコンクリート打設、3号放流管設置工事などを見学することができました。間近で見て、施設規模の大きさに驚愕しましたが、タイミング良く削孔工事中の状況などを見ることができていれば、さらなる感動があったものと思った次第です。



バッチャープラントヤード見学



早明浦ダム（引用先：水資源機構）

今回の現地見学会および講演会の開催にあたり、独立行政法人 水資源機構 吉野川上流総合管理所 所長 津久井 正明さまをはじめ、お忙しいなか貴重な時間を割いてご対応して頂きました、早明浦ダム再生事業推進室 設計工事課 課長 森長夏樹さま、早明浦ダム再生事業推進室 設計工事課 設備リーダー大橋 幸義さま、大林・佐藤特定建設工事共同企業体 早明浦ダム再生 JV 工事事務所 副所長 鎌田 知仁 さま、その他ご協力をいただいた皆様に、心より厚く御礼申し上げます。